

平成30年度 第1回社員総会（定時総会）議事録

1. 開催日時 平成30年6月29日（金）15時から15時45分まで
2. 開催場所 東京都中央区八重洲1-2-16
TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター ホール2A
3. 出席社員に関する事項
 - (1) 社員総数 23 名
 - (2) 出席社員 14 名
 - (3) 委任状による出席社員 7 名
出席社員合計 21 名
4. 出席理事に関する事項
 - (1) 理事総数 25 名
 - (2) 出席理事 12 名
 - (3) 出席した理事の氏名 吉村 博邦（理事長）
松原 謙二 山下 英俊（副理事長）
市川 智彦 木村 壯介 桐野 高明
国土 典宏 小林誠一郎 豊田 郁子
羽鳥 裕 本田 浩 渡辺 毅
5. 出席監事に関する事項
 - (1) 監事総数 3 名
 - (2) 出席監事数 2 名
 - (3) 出席した監事の氏名 今村 聡 寺本 民生
6. 議事録の作成に関する職務を行った者の氏名 理事長 吉村 博邦
7. 議長 理事長 吉村 博邦
8. 議事
 - (1) 理事長挨拶
 - (2) 報告事項
 1. 平成29年度第2回社員総会（3月29日開催）議事録の確認
 - (3) 決議事項
 1. 平成29年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）事業報告、決算報告、監査報告および承認の件
 2. 理事の選出について
 3. 監事の選出について
 - (4) その他



定刻、理事長 吉村博邦は定款の規定により議長となり、開会の挨拶を述べた後、出席数が定款所定数に達したことを報告し、議事を進行した。

(1) 理事長挨拶

議長より、本社員総会は定款第 37 条に基づき開催されていることが述べられ、代表者変更があった社員の紹介がなされた。また、今期理事会最後の社員総会であることから、謝辞が述べられた。

(2) 報告事項

1. 平成29年度第2回社員総会（3月29日開催）議事録の確認

議長より、平成30年3月29日に開催された第2回社員総会の議事録について、確認がなされた。

(3) 決議事項

1. 平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで）事業報告、決算報告、監査報告および承認の件

平成 29 年度事業報告案が読み上げられ、社員総会、理事会、各種委員会開催状況および実施事業内容が報告された。

続いて、平成 29 年度決算報告案について、財産目録およびその他付属明細書を参考に貸借対照表の説明がなされた。

資産の部において、現金預金は 1 億 2,949 万 8,584 円であり、未収金として、プログラム審査・認定料 421 万 2,000 円、プログラム統括責任者講習会受講料 16 万円の計上があり、流動資産合計は 1 億 3,387 万 584 円であることが報告された。その他固定資産として什器備品、商標権、ソフトウェアで 3,587 万 5,975 円を計上しており、資産合計は 1 億 6,974 万 6,559 円であった。

負債の部については、翌月支払となる人件費、会議費や旅費交通費、認定証作成費、システム使用料とその委託費等の未払金が 3,918 万 3,085 円。その他、未払費用、預り金、未払法人税等（均等割り 70,000 円）、未払消費税等 12,137,000 円を計上し、流動負債合計は 5,292 万 1,067 円であった。固定負債として、日本政策投資銀行及び社員からの長期借入金合計 1 億 3,104 万 6,200 円を計上しており、負債合計は 1 億 8,396 万 7,267 円であった。

その結果、資産から負債を差し引いた正味財産（期末残高）は、マイナス 1,422 万 708 円となった。

次いで、正味財産増減計算書および収支計算書について説明がなされた。

主な収益は、23 社員団体からの会費収入と厚生労働省からの補助金等収入、受取利息収入のほか、事業収益として、平成 30 年開始の専門研修プログラム（3,063 プログラム）審査・認定料 1 億 4,937 万 4,800 円と、専門医移行更新審査・認定料については予算想定以上の 7,995 名の申請、8,157 万 7,200 円の収益があった。また、総合診療関連事業である総合診療医養成ワークショップ参加費収入 1,596 万円、総合診療医プログラム統括責任者講習会受講料 476 万円の収益があり、その他、英文認定証発行料 33 万円、専門医認定証再発行料 4 万円の収益とあわせ、事業活動収入計は 3 億 650 万 4,442 円であることが報告された。

プログラム審査・認定料については前回の社員総会で社員より、5 年認定であれば一部は前

受収益として計上すべきではないかとの指摘があったが、会計事務所に確認し、全て当年度収益として計上したことが報告された。

主な費用についても計上金額の大きな科目を中心に説明がなされ、会議開催回数の減少及び複数の会議を同日開催したことにより、会議費支出、旅費交通費支出が予算額に比べて決算額では大幅な減少があったこと、また、賃借料についても当初予定していたよりも請求が少なかったことが報告され、事業費支出計は1億3,608万191円、管理費支出計は3,461万1,734円であった。ここから、法人税、住民税及び事業税の7万円を差し引きすると、事業活動支出計は1億7,076万1,925円であり、事業活動収支差額としては、1億3,574万2,517円であった。

その他の支出として、固定資産取得支出（ソフトウェア構築費用）として1,281万9,600円、社員である公益社団法人日本医師会からの短期借入金3,000万円および日本政策投資銀行からの長期借入金1,200万円の借入金返済支出として、4,200万円の支出があった。

その結果、平成29年度の当期収支差額は8,092万2,917円であり、次期繰越収支差額としては8,094万9,517円となった。

寺本監事より監査報告がなされ、平成30年5月11日に監事3名により平成29年度決算に係る会計監査を行い、監査の結果、事業報告およびその付属明細書は、法令及び定款に従って当法人の状況を正しく表示していること、理事の職務の遂行に関して、不正な行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないこと、計算書類とその付属明細書は当法人の財産および損益の状況を全ての重要な点において適正に表示していることが報告された。

また、監事として資金繰りを注視していたことや、30年度からのサブスペシャルティの審査・認定などの業務量増加にともなう事務体制の強化を、事務局に求めたことが報告された。

以上の報告に対し社員からは異議なく、平成29年度事業報告書案、決算報告書案は承認された。

2. 理事の選出について

森役員候補者選考委員会委員長より、役員選任規定に則り選任された10名の委員で、6月6日、6月18日、6月27日に委員会を開催し、議論の結果、新たな理事候補者として、機構設立時社員およびそれに準ずる社員である日本医学会連合から寺本民生氏、南学正臣氏、日本医師会から今村聡氏、羽鳥裕氏、全国医学部長病院長会議から有賀徹氏、寺本明氏、四病院団体協議会から神野正博氏、森隆夫氏を選定し、内科系社員学会から渡辺毅氏、久住一郎氏、森井英一氏、外科系社員学会から池田徳彦氏、市川智彦氏、大川淳氏、日本医療安全調査機構から木村壯介氏、医療研修推進財団から北村聖氏を選定したことが報告された。

また、学識経験者として、井戸敏三氏、遠藤久夫氏、花井十伍氏、邊見公雄氏、本田浩氏、向井千秋氏、兼松隆之氏、里見進氏、浅井文和氏を理事候補者として選定したことが報告された。

議長より、理事候補者について一括審議の提案があり承諾され、25名の理事候補者の理事選任が承認された。

3. 監事の選出について

森役員候補者選考委員会委員長より、役員選任規定に則り、機構設立時社員およびそれに準ずる社員である、日本医学会連合から跡見裕氏、日本医師会から松原謙二氏、四病院団体

協議会から相澤孝夫氏が監事候補者として推挙され、委員会での議論の結果、監事候補者として選定したことが報告された。

議長より、監事候補者について一括審議の提案があり承諾され、3名の監事候補者の監事選任が承認された。

4. その他

羽鳥理事より、本務先である日本医師会生涯教育推進担当の立場から、日医生涯教育制度の在り方について検討した結果が説明され、機構で認定している日本医師会の共通講習の紹介と、領域講習としても活用していただきたいとの案内があった。

社員より、現執行部への謝辞と新執行部への期待が述べられ、議長より、退任の挨拶がなされた。

以上をもって議案の審議を終了し、15時45分、議長は閉会を宣し散会した。

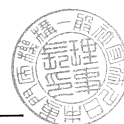
上記の議事を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び社員総会において選任された議事録署名人が次に署名捺印する。

平成30年6月29日

一般社団法人日本専門医機構 平成30年度 第1回社員総会（定時総会）

議長（理事長）

吉村博邦



議事録署名人

木村昭夫

